

令和七年度

第二学年

前期中間テスト

国語

対策集



年
組
番
氏名



見えないだけ 前期中間 対策

名前

年組
番

Q、「見えないだけ」は、なんという形式の詩か。漢字五字で書きなさい。

Q、「見えないだけ」は何連からできているか答えなさい。

Q、「見えないだけ」の第一連の四行目にある「海が眠っている」には、どんな表現技法が使われているか。漢字で答えなさい。

Q、「見えないだけ」の第一連の一・二行目「空の上にはもつと青い空が浮かんでいる」と、三・四行目「波の底にはもつと大きな海が眠っている」には、どんな表現技法が使われているか。漢字で答えなさい。

Q、「見えないだけ」の第一連の六・八・十行目「ことばがはぐくんでいる優しい世界」「蕾をさし出している美しい季節」「待ちかねている新しい友だち」には、おなじ表現技法が使われている。どんな表現技法か、漢字で答えなさい。

Q、「見えないだけ」第一連の六行目にある「ことばがはぐくんでいる優しい世界」とは、どのような意味か。最も適切なものを次の中から選びなさい。
ア：ことばが、優しい世界を作っている
イ：ことばが、優しい世界を守っている
ウ：ことばが、優しい世界を育てている
エ：ことばが、優しい世界と共存している

Q、「見えないだけ」第一連の十行目にある「待ちかねて新しく友だち」とは、どのような意味か。最も適切なものを次の中から選びなさい。

ア..待つことを我慢できなくなつた友だち

イ..ずっと待つてゐる友だち

ウ..そわそわと待つてゐる友だち

エ..待とうか迷つてゐる友だち

Q、「見えないだけ」の第二連の一連目には「あんなに確かにあるものが」と書かれているが、「確かにあるもの」とはなにか、「見えないだけ」の中に書かれているものを全て抜き出して答えなさい。

Q、「見えないだけ」の詩の中で、作者の思いが最も現れている「ひと続きの二行」を抜き出して答えなさい。

Q、「見えないだけ」の詩には「空の上」「波の底」「胸の奥」「次の垣根」「少し遠く」という言葉が使われてゐるが、これらは「確かに在るもの」がある状態であることを表現するためと考えられる。ある状態とは、どのような状態か。詩の中から十字以内で抜き出して答えなさい。

Q、「見えないだけ」で作者が伝えたい思いとはなにか、最も適切なものを次の中から選びなさい。

ア..今の自分には見えなくとも、物事にはもつと大切なことがあることを忘れないようにしなければならない。

イ..人生とは、自分が思う以上にたくさんのが待ち構えているから面白いのだ。

ウ..世の中には、まだ知らない素晴らしいものがたくさん溢れているので、自分から一步踏み出してみよう。

エ..世の中には、今知っているよりも優れたものがたくさんがあるので、自分の未熟さを知らなければならぬ。

表現技法 補助プリント

名前【】

・次の文に用いられている表現技法（直喻・隱喻・擬人法・反復法・倒置法・対句法・体言止め）を漢字で答えなさい。

①ついに終わつたよ、夏休みが。

⑧夕日が背中を押してくる。

②マシュマロの雲が浮かんでいる。

⑨私の上に降る雪は

真綿のようありました。

③青い海がぼくに語りかける。

⑩あわ淡くながれてゆく雲を

④心にしみるふるさとの川の音。

ながめていた言葉すくなく

⑪かぎりない追憶にさそわれて
頬ほおに散る白い花

⑤野ゆき山ゆき海辺ゆき。

⑫僕の前に道はない

僕の後ろに道は出来る

⑥りんごのようなほっぺただ。

⑦こっちの山をのぼる人たち
あっちの山をくだる人たち

⑭高く高く、青く澄んだ空だ。

⑬あなたの咽喉に嵐はあるが

表現技法テスト①

名前
一

1

・次の文に用いられている表現技法（直喻・隱喻・擬人法・反復法・倒置法・対句法・体言止め）を漢字で答えなさい。

- ①弟のほっぺはりんごのようだ。

②弟のほっぺはりんごのだ。

③月は東へ、日は西へ。

④草木が手を広げている。

⑤走っている、選手たちが。

⑥走っている選手たち。

⑦咲いた、咲いた、桜が咲いた。

⑧小鳥たちが歌っている。

⑨静かなること林のごとし。

⑩ミンミン、ミンミンと蝉がせみが鳴く。

- ⑪ しんしんと降る白い雪。

⑫ うちの社長は炎の人だ。

⑬ 雪は降り積もる、私の上に。

⑭ 女の肌は雪のように白かった。

⑮ 花が散つて、実が熟れる。

⑯ 君の瞳はダイヤモンドだ。

⑰ 青く、青く、澄み渡る空だ。

⑲ 遅刻しまいと急ぐ生徒たち。

⑳ 天地が怒つている。

〈登場人物を確認する〉

★ほとんどが冒頭で読み取れる内容。つまり、物語の冒頭は「登場人物」の「状況」を捉えるために重要な情報が詰まっている。さりとてきがちだが、変化の前後を捉えるためには大切だ。

- ・僕（悠太）・・・成長をとげる主人公。中学生＝思春期。「ぐいたらちゃん」の話が大好き。
- ・ぐいたらちゃん・・・（渡田由起夫）僕を成長させてくれるキーマン。僕の家に居候。
[定職に就かず、『わい少し』『ぐいたり』など、「ぐいたらちゃん」。
- ・母・・・ぐいたらちゃんの姑。ぐいたりぐいたりやさんを、いつも庇つてころ。
- ・父・・・伯母に単身赴任してきて、週末帰つてくる。力仕事でぐいたらちゃんを頼れるから、
時候のぐいたらちゃんを歓迎している。

〈フォーカスして読む〉

★物語を読み取ると、視点を決めると見えてくるものがある。『』では、「ぐいたらちゃん」の話に対する、僕の見方の変化に着目して物語を読んでみよう。

①この日

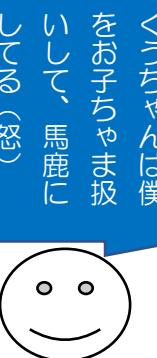
- ・「僕はぐいたらちゃんの話しが大好きだ。
- ・「ぐいたらちゃんの話は文句なしにおもしろいのだ。」「面白いなあ！」
- ・「僕はぐいたらちゃんの部屋でほら話をきいていた。」
- ・今日は話のテーマがちょっと幼稚すぎる。
- ・「いつも怪しい。僕がおもしろがればいいとねやつだ。
- ・「あうえねえ。」
- ・「ぐいたりぐいたちゃんの話の世界に取り込まれてしまふ。
- ・あるつまつさうども扱い。やすがに頭にあた。
- ・僕を小学生ぐらうこと勘違にしてねえだ
- ・僕をからかって喜んでいる田だ
- ・アイスフリネットは、童話か何かの話。
- ・ぐいたらちゃん、やっぱり今どきの中学生をなめていたのだ

作り話を語る
ぐいたらちゃんは
面白いなあ！



なんか幼稚で
うなづくやうに
面白いー

ぐいたらちゃんは僕
をお子ちゃま扱
いして、馬鹿に
している（怒）



② 話を聞いた翌日

- ・アナコンダ、ナマズの話は面白かった
- ・氷の惑星もほんとうだったりおれいだわいな
- ・つい、話してしまった。

③ 夏休み

- ・あまりぐうかやんの部屋に行かなくなっていた。
- ・父「日本の中においては気付かないことがいっぱい見える。羨ましい。」
- ・母「由起夫のせいで悠太に悪い影響がでたり、ぐうかやんの？」
- ・僕のことでぐうかやんが責められるのは少し違う気がする。
- ・電気の通ったぐうかやんの部屋が急に寂しく感じられた。

④ 九月の新学期が始まつてしばらしだ原

- ・久しぶりにぐうかやんのほり話が聞きたい。
- ・からかわれてもいい。

⑤ 十月の初め

- ・なんて言つてこいのかわからない
- ・ぐうかやんの前に立っていた。
- ・ふつわうせつに「勝手に行けばいいじゃないか。」
- ・それ以来、一度と部屋に行かなかった。

⑥ 四ヶ月ぶりに経つてからの手紙

- ・ぐうかやんの力強い文字がぎつこつ詰まつていた
- ・「氷の惑星」の跡真

今までの話は、全部本当だつたんだ！



きっと吉井や今村も

「ぐうかやん」の話を

楽しそうにしていた

今朝も楽しそうに聞いてたのに、全部ウソだつたってのかーおひで僕までウソつかじやないか！



距離を置いてたけど、
やつぱり「ぐうかやん」のこと、好きなのかも。
会いたいな……

きっと吉井や今村も
「ぐうかやん」の話を
楽しんでくれるだのつ。



せっかく仲良くなつた
思ったのに、なんだよ！
自分勝手おむねんだわ。
急すきる……悲しきよ……



ムカつくなじ、こなこのは寂し
いし行つてほしくないかど……
外国に行くのは、ウソじゃない
んだ。なんだよ、寂しこよ……



★ アイス・プラネット 前期中間 対策

名前

年組
番

Q、「僕」のおじさんは、「ぐうちゃん」と呼ばれているが、その理由を本文の言葉を使って答えなさい。

Q、「ぐうちゃん」が、「僕」の家に住み着いていることを、本文中ではどんな言葉で表しているか。適切な言葉を本文中から五字で書き抜きなさい。

Q、「それを見て僕の母はまた怒る。」とあるが、その理由として最も適切なものを次の中から選びなさい。

A..自分の弟が、「ぐうちゃん」なんてあだ名をつけられてしまつて情けないから。

I..ぐうちゃんが、長いこと僕の家に住み着いて「ぐうたら」しているから。

U..「ぐうちゃん」なんてあだ名をつけられても、うれしそうにしている弟が情けないから。

E..ぐうちゃんが、「ぐうちゃん」と呼ばれて喜ぶような変わった人だから。

Q、「父はぐうちゃんのいそもうを歓迎しているみたいだ」とあるが、その理由を本文から抜き出し、初めの十字を答えなさい。

Q、本文から、ぐうちゃんが「ぐうたら」している様子を詳しく描写している一文を抜き出し、初めの十字を答えなさい。

Q、「母はぐうちゃんに『いそうろう』から卒業しなさいと怒っているが、『いそうろうから卒業』とはどのようなことを表しているか。」「～」と「～」と続くように本文の言葉を使って十字以上十五字未満で答えなさい。

Q、「母は今度は僕に向かって、『ぐうちゃんみたいな大人になつてはだめだからね。』と言う。」とあるが、この母のいう『ぐうちゃんみたいな大人』とはどういう大人か、本文の言葉を使って説明しなさい。

Q、「僕」は、学校に行く途中で友人に会った時、「初めはどうしようかと思ったけどぐうちゃんに聞いた話を友人にしているが、なぜ『初めはどうしようかと思った』のか。その理由として最も適切なものを次のなかから選びなさい。

A:馬を飲み込むアナコンダや、三メートルのナマズ、氷の惑星の話なんて中学生には幼稚な話だったので、友人に馬鹿にされるかもしれないと思ったから。
イ:ぐうちゃんの話は文句なしに面白いので、友人に教えてしまるのは勿体なかつたから。

ウ:まだあまり仲の良くない友人なので、馬を飲み込むアナコンダや、三メートルのナマズ、氷の惑星の話のようなどんでもない話をしたら変に思われるのではないかと思つたから。

エ:馬を飲み込むアナコンダや、三メートルのナマズ、氷の惑星の話なんて信じてもられないのではと思ったから。

Q、「僕」の友人は、「僕」から聞いた話を「どのような話」だと判断したか。本文の言葉を使って説明しなさい。

Q、「僕」は、「ぐうちゃん」に証拠を見せるよう言つたが、言い逃れされてしまったのを境にぐうちゃんの部屋にはあまり行かなくなつていたが、その時「僕」が「ぐうちゃん」に抱いていた気持ちとして最も適切なものを次のの中から選びなさい。

ア：言い逃れするしかなかつたぐうちゃんへの哀れみ

イ：証拠を見せるよう迫つてしまつた恥ずかしさ

ウ：ほら話しかできないぐうちゃんに対する軽蔑

エ：証拠を見せられなかつたぐうちゃんへの諦め

オ：「僕」の人生を全面的にからかつたぐうちゃんへの怒り

Q、「悠太に悪い影響が出ないか心配でしかたがないのよ。」とあるが、「悪い影響」とは具体的にどのようなことか。「～こと」と続くように本文の言葉を使って答えなさい。

さい。

Q、「僕のこと」でぐうちゃんが責められるのは少し違う気がする。」とあるが、それはなぜか。その理由として最も適切なものを次のの中から選びなさい。

ア：僕はぐうちゃんの部屋にはもうあまり行かなくなつていたので、影響を受けるはずがなかつたから

イ：僕の将来のことは僕の問題で、ぐうちゃんの責任ではないから

ウ：ぐうちゃんの話はほらばかりだと僕はちゃんと気がついていたか

エ：ぐうちゃんは「ぐうたら」していても、なんとか生活できているから

Q、ぐうちゃんから外国へ旅に出てしまふことを聞いた「僕」は、「ぐうちゃんの声はどんどん遠くなっていく」と感じているが、その理由としてもつとも適切なものを次のの中から選びなさい。

ア：外国へ行つてしまふぐうちゃんが、遠い存在になつてしまふと思ったから

イ：外国へ行つてしまふぐうちゃんの話なんか、もう聞きたくないとと思ったから

ウ：ぐうちゃんが外国へ行つてしまふことを聞いて、ショックを受けているから

エ：外国へ行つてしまふぐうちゃんのことを、段々と嫌いになつてしまつたから

Q、外国へ行くと話したぐうちゃんに対して、「僕」は「ぶつかりっぽうに」「勝手に行けばいいじゃないか」と言ったあるが、(イ)での「ぶつかりっぽうに」と同じ意味である言葉を本文から三字で抜き出しなさい。

Q、「勝手に行けばいいじゃないか」と言った「僕」の気持ちをもつとも適切に説明しているものを次の中から選びなさい。

ア..ほら話ばかりなので、もうぐうちゃんには興味がなくなってしまった
イ..もっとぐうちゃんのほら話を聞きたかったのに、ぐうちゃんが旅に出ると知り悲しくなった

ウ..「僕」の人生を全面的にからかわれたことに怒っていた
エ..母にいつも怒られていたぐうちゃんが、やつと旅に出る決意をしたことを応援している

Q、「いそぞろう」を卒業してしまった」とあるが、この作品ではどのような内容のことを表現しているのか、次の文の空欄に当てはまる言葉を本文から抜き出して

(ア)に行くために、(イ)が「僕」の家を(ウ)こと。
答えなさい。

ア イ ウ

Q、ぐうちゃんが家を出て行ったあと、「ほらばっかりだつたじゃないか。」と「僕」は思つたとあるが、その時の気持ちを最も適切に説明しているものを次の中から選びなさい。

ア..ぐうちゃんの話がほらばかりだつたと気がついて怒っている
イ..最後までほら話しかしなかつたぐうちゃんを情けなく思つてている
ウ..ぐうちゃんが出ていつてしまつたのは寂しいが、ほらばかりだつたから寂しがる必要はない、と自分を慰めている
エ..もうぐうちゃんのほら話が聞けなくなつてしまい、悲しんでいる
Q、アイスプラネットを言い換えた言葉を七字で書き抜きなさい。

Q、不思議アタマとは、どのようなアタマか。本文中の言葉を使って説明しなさい。

Q、ぐうちゃんからの手紙には、ぐうちゃんが「僕」に対してしてほしいことが書かれているが、次の【A】と【B】について、どうして欲しいと伝えていたか。それぞれ本文から、【A】については八字、【B】については十二字で書き抜いて答えなさい。

【A】 アイスネットについて

【B】 世界は、楽しいこと、悲しいこと、美しいことで満ち満ちているということについて

【A】

【B】

Q、作品を通して、ぐうちゃんはどのような人物として描かれていたか。次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 何事にも消極的で他人に流されてしまいやすくなかなか一人立ちできない人物。

イ 世間の常識にとらわれず、まっすぐな信念をもつて自分の生き方を貫く人物。

ウ 他人からの要求は何でも拒まず柔軟に受け入れられる、器用な人物。

エ 曲がったことや間違ったことは絶対許さない、正義感にあふれた人物。

Q、「アイス・プラネット」が象徴しているものとして、ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- A 人間が責任をもつて守つていかなければならぬ、大自然の美。
イ 目に見える物事の裏に隠れている、世界を動かす大きな力。
ウ 常識にとらわれていては見ることのできない、世界の不思議。
エ 大人になつてもずっと心に抱いていたい、純粹な少年の心。

○ 夏は夜に一番趣があるー。

夏は、夜(がいい)。

月の(明るい)=満月の)ころは、言つまでもない。

螢(の月がなごとき)もやはり(またい)。

螢が多く乱れ飛んでいるのや、
また、(たくさん飛び交つては、しなくても)
ほんの一匹二匹と、
ほのかに光って飛んでいるのも、趣がある。

雨が降っているときも、趣がある。



春 枕草子 春の「をかし」 解説

○ 春は明け方が一番趣があるー。

★ 春は、夜明け(がいい)趣がある。
あけぼの

秋 枕草子 秋 解説

○ 秋は夕暮れに一番趣があるー。

秋は、夕暮れ(がい)。

夕日が(はなやかに)映えて、
山の端にぐっと近づいたころに、
鳥が、巣に帰(もど)して、
三羽四羽、二羽、三羽と、
飛び急いでいる様子までも、心がひかれれる。まして、雁(ガノ)=カモ(ばい鳥)などが列をつくって飛んでいる様子が、
とても小さく見えるのは、たいそう趣がある。日が沈んでしまって、(聞こえてくる)風の音や、虫の音なども、また言つ
までもない。つまり、趣があるー。

冬 枕草子 冬 解説

○ 冬は早朝に一番趣があるー。

冬は、早朝(がい)。
つとめて

雪が降っている早朝は、言つまでもない。※霜が真っ白におりたのも(じん)。

また、雪や霜がなくとも寒い早朝に、火を急いで起(おこ)して、
(いろいろな部屋へ炭を持って行くのも(冬の朝に)大変似つかわしい)。(しかし)昼になつて、寒さ(が)だんだん薄らぎ暖かくなつてやくと、丸
火桶の火も、(いはつたらかして)白い灰になつてしまつているのは)、
良くない(=似つかわしくない)。※ 「(ハ)「唯一、「わるし」が出て来る。」
古語では、程度を表す言葉が
四段階で使用されるよし：良い、素晴らしい、百点満点。
よろし：まあまあ、及第点、悪くない。
わろし：良くない、まあ悪い。
あし：悪い、最悪。

書かれてる。

春は、視覚で感じた趣がある風景が、
山際(やまぎは)=空の方と覚えよう

★だんだんと白くなつてゆく山ぎはの空が、
少し明るくなつて、紫がかつた雲が、
細くなひいでいる(のがい)。

山ぎは：空と山の境目の線で、空のほう。

山の端(やまのは)：端っこ(はしごこ)と覚えよう

「山の端(やまのは)」と漢字で
覚えておけば忘れません！



春は、視覚で感じた趣がある風景が、
山際(やまぎは)=空の方と覚えよう

★だんだんと白くなつてゆく山ぎはの空が、
少し明るくなつて、紫がかつた雲が、
細くなひいでいる(のがい)。

山ぎは：空と山の境目の線で、空のほう。

山の端(やまのは)：端っこ(はしごこ)と覚えよう

「山の端(やまのは)」と漢字で
覚えておけば忘れません！



春は、視覚で感じた趣がある風景が、
山際(やまぎは)=空の方と覚えよう

★だんだんと白くなつてゆく山ぎはの空が、
少し明るくなつて、紫がかつた雲が、
細くなひいでいる(のがい)。

山ぎは：空と山の境目の線で、空のほう。

山の端(やまのは)：端っこ(はしごこ)と覚えよう

「山の端(やまのは)」と漢字で
覚えておけば忘れません！



春は、視覚で感じた趣がある風景が、
山際(やまぎは)=空の方と覚えよう

★だんだんと白くなつてゆく山ぎはの空が、
少し明るくなつて、紫がかつた雲が、
細くなひいでいる(のがい)。

山ぎは：空と山の境目の線で、空のほう。

山の端(やまのは)：端っこ(はしごこ)と覚えよう

「山の端(やまのは)」と漢字で
覚えておけば忘れません！



★ 枕草子 前期中間 対策

名前

年組
番

春はあけぼの。①やうやう白くなりゆく山ぎは、すこしあかりて、紫だちたる雲のほそくたなびきたる。

夏は夜。月のころはさらなり、闇も②なほ、虫の多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くむ③をかし。雨など降るもをかし。

秋は夕暮れ。夕日のとしてA山の端いと近うなりたるに、鳥の寝どころへ行くとて、三つ四つ、二つ三つなど、飛びいそぐさへあはれなり。Bまいて雁などのつらねたるが、いと小さく見ゆるはいとをかし。日入り果てて、風の音、虫の音など、はた④言ふべきにあらず。

冬はつとめて。雪の降りたるは言ふべきにもあらず、霜のいと白きも、またさらでもいと寒きに、火などいそぎおこして、炭もて渡るもいとつきづきし。昼になりて、ぬるくゆるびもていけば、火桶ひおけの火も白き灰がちになりてわろし。

(第一段)

Q、下線部【①】～【④】を、現代仮名遣いに直して、全てひらがなで書きなさい。

④ ③ ② ①

Q、「あかりて」の意味を現代語で答えなさい。

Q、「あかりて」の意味を現代語で答えなさい。

Q、「さらなり」の意味を現代語で答えなさい。

Q、「なほ」の意味を現代語で答えなさい。

Q、「まいて」の意味を現代語で答えなさい。

Q、「いと」の意味を現代語で答えなさい。

Q、「つとめて」の意味を現代語で答えなさい。

Q、「つきづきし」の意味を現代語で答えなさい。

Q、「山ぎは」と対照的に使われている言葉を本文から抜き出して答えなさい。

Q、下線部A「山の端いと近うなりたる」とあるが、何が山の端に近づいているのか、本文中の言葉を書き抜いて答えなさい。

Q、下線部B「まいて雁などの…いとをかし」とあるが、この部分の意味を最も適切に説明しているものを次のの中から選びなさい。

ア..鳥の後を追いかけるように雁が急いで続していく姿がとても小さく見えるのは
趣がある

イ..鳥が寝ぐらへ急ぐ姿もしみじみとするが、まして雁が連なつてとても小さく見えるのは趣がある

ウ..鳥が寝ぐらへ急ぐ姿もしみじみとするが、鳥から逃げようと雁が連なつてとても小さくなつていく姿は趣がある

エ..雁が鳥の寝ぐらを探そと急ぎ飛ぶ姿は哀れだが、連なつてとても小さくなつていく姿は趣がある

Q、「ぬるくゆるびもていけば」とあるが、何が緩んでいくのか。もつとも正しいものを
次の中から選びなさい。

ア..火桶の火の勢い イ..降り積もつた雪 ウ..寒さ エ..霜

Q、冬について書かれている部分で、作者が「良い」と思っているものとしてハツキリ書かれているものを次の中から全て選びなさい。

ア..早朝 イ..雪が降ること ウ..霜がとても白いこと エ..とても寒いこと

オ..炭を持って廊下などを歩くこと カ..昼になること キ..寒さがゆるむこと

ク..火桶の火が白い灰ばかりになること

Q、「枕草子」の第一段の中で、「をかし」「あはれ」とは対照的に使われている言葉を本文の中から書き抜いて答えなさい。

Q、「わろし」とは、あまり良くないという意味だが、作者はどういう事が良くないと
言っているのか。現代語で答えなさい。

Q、この作品を一言で表す場合、どんな文学だといえるか。次の文の空欄に入る言葉を、本文中から三字で書き抜きなさい。

】

】の文学。

Q、この作品の名前を漢字で答えなさい。

Q、この作品が書かれた時代を漢字で答えなさい。

Q、この作品の作者を漢字で答えなさい。

Q、この作品の文学ジャンルを漢字で答えなさい。

品詞表（テスト）

(問) 次の枠にあてはまる適切な品詞を答えなさい。

品詞	見分け方	例
	ウ段で終わる	遊ぶ、食べる、走る、ある、いる、学ぶ
	～イで終わる	楽しい、悲しい、白い、美しい、大きい、難しい
	～ダで終わる	静かだ、大変だ、きれいだ、元気だ
	体言=主語になる	学校、私、とき、もの、こと、楽しみ、寒さ
	状態、程度、陳述	かなり、ちょっと、ゆっくり、決して、もし
	な、の、た、る、がで終わる	大きな、おかしな、その、あの、この、大した、いわゆる、あらゆる、ある、我が、我らが
	文と文をつなぐ	だから、そこで、したがって、しかし、また
	感動、応答、挨拶	ああ、まあ、もしもし、はい、おはよう
	受け身、使役、打ち消し、伝聞・推定	れる、られる、せる、させる、ない、まい、そうだ、らしい、ようだ、そうだ
	単語をつなぐ	が、から、も、を、に、の、から、だけ、くらい

一次の各文の一線部の単語の品詞名をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。（10点×4問）

(1) 今日の夕飯は僕の大好きなカレーライスだ。

(2) 昨日の夜は暑くて寝苦しかった。

(3) 今私が一番夢中になつてることとは音楽を聴くことだ。

(4) 今年の合唱コンクールは、指揮者に立候補する予定だ。

ア	名詞	イ	副詞	ウ	連体詞	エ	接続詞	オ	感動詞
カ	動詞	キ	形容詞	ク	形容動詞	ケ	助詞	コ	助動詞

二次の文について、あとの問い合わせに答えなさい。（10点×6問）

・今年の大会にはあらゆる国の人々が大勢集まる予定です。

(1) 自立語で活用のある単語を書き抜きなさい。

()

(2) (1)で抜き出した単語の品詞名を書きなさい。

()

(3) 自立語で活用のない単語をすべて書き抜きなさい。

()

(4) 付属語で活用のある単語をすべて書き抜きなさい。

()

(5) 付属語で活用のない単語を書き抜きなさい。

()

(6) (5)で抜き出した単語の品詞名を書きなさい。

()

点



12 品詞 体言と用言

1 次の文の——線部の単語の品詞名を書きなさい。

(1) これは、地図を書くときに便利だ|う。

(2) このままでは日が暮れ|てしま|う。

(3) あら、それは私のコートです|よ。

(4) あの指輪は見た目ほど高く|ない。

(5) あわてて玄関から外へ出た。

(6) お茶にしますか、それとも、コーヒーにしますか。

(7) 計画実行の前に、あらゆる危険を想定する。

(8) 達成するのはかなり困難な課題だ。

2 次の単語は体言・用言のどちらですか。それぞれ書きなさい。

(1) 喜ぶ (2) 喜び

(3) 悲しみ (4) 悲しい

(5) 痛い (6) 痛む

(7) 細やかだ (8) 細やかさ

(7)	(5)	(3)	(1)
(8)	(6)	(4)	(2)

3 次の文の——線部の単語が体言なら「体」を、用言なら「用」を書きなさい。

(1) 突然、ドアが開いた。

(2) 友達からすすめられた本を、読んでみた。

(3) 荷物が重い。

(4) 命の重みを知る。

名前	学習日	組	月	日	番	学年
						/20問

【熟語の組み立て】

⑤意味が似た字の組み合わせ

例 身み、体たいー身体shintai
解かい、放はなー解放kaihō
安やす、易やすー容易ainyoushi
思し、考こうー思考shikō

①上の字が主語、下の字が述語になる
主語何が・何は **述語**どうする・どんなだ・何だ

例 国が^{主語}
 ^{述語}営むー国営
 腹が^{主語}
 ^{述語}痛いー腹痛

②反対や対の意味の字の組み合わせ

例 男と女ー男女 左と右ー左右

③上の字が下の字を修飾(詳しく説明)する

例 老いた人ー老人 清い流れー清流
 親しい友ー親友 陸の上ー陸上

④上の字が動作(～する)、

下の字が目的や対象(～に、～を)表す

例 登る、山を^{動作}
 ^{目的}ー登山 乗る、車に^{動作}
 ^{目的}ー乗車
例 消す、火を^{動作}
 ^{目的}ー消防 上る、陸に^{動作}
 ^{目的}ー上陸

熟語の組み立てテスト

①次のそれぞれにあてはまる成り立ちの熟語をとから
二つずつ選び、記号で答えなさい。

①似た意味の字を重ねたもの

②意味が反対になる字を重ねたもの

③長い言葉を省略したもの

④上の字が主語、下の字が述語になるもの

⑤上の字が下の字を修飾するもの

⑥下の字が上の字の目的語になつているもの

⑦上の字が下の字を打ち消しているもの

⑧意味を添える語があとについたもの

ア	無罪	イ	腹痛	ウ	知的	エ	工	温	暖
オ	降車	力	宣伝	キ	築城	ク	不満		
ケ	市営	コ	前後	サ	砂丘	シ	シ	取捨	
ス	農協	セ	清流	ソ	自然	タ	原爆		

<input type="text"/>									
.
<input type="text"/>									

②次の□に「的・性・然・化」を入れ、熟語を作りなさい。

① 緑

② 歴

③ 詩

④ 理

10

組番	中学校二年生 * 単元確認テスト * 一学期 ③
氏名	
	熟語の構成

一次の(1)～(5)の熟語と同じ構成の熟語をあとの一
つ選び、□に記号を書きましょう。

【完答各一点】

(1) 永久 と

(3) 地震と

(5) 軽傷

(4) 登山

と

ア	水路	イ	就職	ウ	交換	エ	異同	オ	市立
力	腹痛	キ	比較	ク	難易	ケ	点火	コ	少量

二次の(1)～(5)の熟語の●には「不・無・非・未」のいずれかを、▲には「的・性・化」のいずれかを入れて、三字熟語を作りましょう。

【各一点】

(1) 合格

A blank square box with a black border, intended for a student to draw a picture related to the question above.

(2) 公式

A large, empty rectangular box with a black border, intended for a student to draw or write something.

(3) 意識

(4) 基本
▲

(5) 映画 ▲

基本1 見えないだけ

目標 詩に込められた思いを捉える。

教科書巻頭

20分

1

の漢字は仮名に、仮名は漢字に直しなさい。

① 心に浮かぶ。

かぶ

② 奥の部屋へ案内する。

ア イキヨウを受ける。

③ 情報を検索する。

イ 大声でサワグ。

④ 注意を促す。

ウ シンセキの家に泊まる。

⑤ 証拠を示す。

エ キヨリを縮める。

2 後の問い合わせに答えなさい。

1 の言葉の意味を、次から選びなさい。

ア 子犬をはぐくむ。

イ 今か今かと待つ

ウ 養い育てる

エ 見守る

ア 連れていく

イ 次の垣根で

エ 次の垣根で

ア 公園に着いた。

イ ここで遊ぼう。

ウ 気ままな生活。

エ そんな生活を夢見る。

3 次の詩を読んで、後の問い合わせに答えなさい。(数字は行番号を表す。)

見えないだけ

牟礼慶子

1 空の上には
もつと青い空が浮かんでいる
波の底には
もっと大きな海が眠っている
胸の奥で
ことばがはぐくんでいる優しい世界
次の垣根で
薔薇をさし出している美しい季節
少し遠くて
待ちかねている新しい友たち
1211 あんなに確かに在るもの
まだここからは見えないだけ



- (1) 1・2行目と対応している行の番号を、それぞれ書きなさい。
 「あんなに確かに在るもの」として、作者は何を挙げているか。表現
 技法の名前を漢字二字で書きなさい。
- (2) (1)のようないふりをとる表現を何というか。表現
 体言止めが使われている行の番号を全て書きなさい。
- (3) この詩から感じられるものとして最も適切なものを、次から一つ選びなさい。
 「あんなに確かに在るもの」として、作者は何を挙げているか。五字以上七字
 以内で五つ、順に書き抜きなさい。
- (4) この詩から感じられるものとして最も適切なものを、次から一つ選びなさい。
 「あんなに確かに在るもの」として、作者は何を挙げているか。五字以上七字
 以内で五つ、順に書き抜きなさい。
- (5) この詩から感じられるものとして最も適切なものを、次から一つ選びなさい。
 「あんなに確かに在るもの」として、作者は何を挙げているか。五字以上七字
 以内で五つ、順に書き抜きなさい。

- ア 未来に対する期待や希望。
 ウ 未来に対する不安や迷い。
 イ 過去に対する後悔や不満。
 エ 過去に対する満足や喜び。

3 素・判・表

5点×10

/50

2 知・技

5点×4

/20

1 知・技

3点×10

/30

国語2年 光村図書版(1)

/50

/50

/100

送り仮名のあるものは、送り仮名も書きなさい。*

基本
2 アイス・プラネット

目標 登場人物の設定や人物との関係 人物像を捉える

教科書 p. 16 ~ 27

20
分

の漢字は假名は
假名は漢字は直しなさい

- ⑤ 人を羨む。
 - ④ 急いで逃げる。
 - ③ 勘違いをする。
 - ② 幼稚な考え。
 - ① 唯一の宝物。

む げ る い

- ⑩ 言葉にツマル。
⑪ ユウベンな物言い。
⑫ 友人を写真にトル。
⑬ 馬のアシの骨。
⑭ アヤシイ話をする。

送り仮名のあるものは、送り仮名も書きなさい。

の意味を、次から選びなさい。

- ① 虫行して流れ川
② 植物は力きなシツ
③ 精密な検査をする。
④ 遅刻の口実を考える。

ア 細部まで丁寧で正確であること。イ 言い逃れの理由や言いがかりの材料。
ウ 普通から大きく外れていること。エ 曲がりくねって進むこと。
オ 説得力をもつて堂々と話すこと。

3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

僕のおじさんは「ぐうちやん」という。津田由起夫三十八歳。いそうろう。僕の母親の弟だ。いつも母に怒られている。学生の頃に外国のいろんな所を旅していくらしく、気づいたときには僕の家に住み着いていた。そして、長いこと「ぐうたら」しているから、いつのまにか「ぐうちやん」というあだ名になってしまった。でも、ぐうちやんは変わった人で、そう言わるとなんだかうれしそうだ。それを見て僕の母はまた怒る。怒るけど「これ、ぐうちやんの好物。」なんて言いながら、ご飯の支度をしているから母もちょっと変わっている。

僕の家は東京の西の郊外において、父の社員が建てた古い家だけれど、ぐうちゃんが「いそうろう」できる六畳間があつて、そこでぐうちゃんは「ぐうたら」としている。父は単身赴任で仙台せんだいにいて、週末に帰つてくる。ぐうちゃんがいると何か力仕事が必要になつたときに安心だから、と言つて、父はぐうちゃんのいそうろうを歓迎しているみたいだ。
②

(1) ①「おじさん」とあるが、

I おじさんのA年齢、B家の立場、Cあだ名を、それぞれ書き抜きなさい。
II おじさんと他の登場人物との関係についてまとめた次の文の空欄くうらん1、2に
る言葉を、それぞれ一字で書き抜きなさい。

*語り手である
1 のおじさんであり、母親の
2

(2) おじさんのおだ名の由来を十六字で探し、初めと終わりの四字を書きなさい。

(3) あだ名でよばれたときのおじさんの様子を、九字で書き抜きなさい。

(4) (3)の様子から、「僕」はおじさんをどんな人だと捉えているか。五字で書き抜きなさい
やさ

(5) おじさんに対する母の優しさが最もよくわかる一文を探し、初めの五字を書きなさい。

(6) 父が②「歓迎している」のはなぜか。次の文の空欄に入る言葉を、1は五字で

探して書き抜き、2は一十九字で探し、初めと終わりの五字を書きなさい。

*父はふだん仙台にいて、
1 のは週末だけなので、
2

字数指定のあるものは、句読点や記号も一字と數えなさい。

(3)	(1)
(4)	(2)

[View Details](#)

国語2年 光村図書版(2)

アイス・プラネット

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

①それから、ぐうちゃんがまた僕の家に帰つてきたのは、九月の新学期が始まつてしまくした頃だつた。顔と手足が真っ黒になつていて、パンツ一つになると、どうしても笑いたくなつて困つた。残暑が厳しい日だつた。久しぶりにぐうちゃんのほら話を聞きたいと思つた。またからかわれてもいい。暑いから、今度は寒い国の話が聞きたい感じだ。

ところが、ぐうちゃんの話は、でつかい動物の
でも、暑い国のでも、寒い国の中でもなかつた。
「旅費がたまつたから、これからまた外国をふら
ふらしてくるよ。」

ぐうちゃんは突然そう言つた。「でもまあもう少し。」にはこんな意味があつたのか。ぐうちゃんはいつもと変わらずに話を続けていた。それなのに、ぐうちゃんの声はどんどん遠くなつていく。
「勝手に行けばいいじゃないか。」

ぐうちゃんは、そのときちょっと驚いた表情をした。何かを話しかけようとするぐうちゃんを残して僕は部屋を出た。

それ以来、僕は一度とぐうちやんの部屋には行かなかつた。母は、そんな僕たちに、あきれたり慌てたりしていたけれど、父は何も言わなかつた。

③ て
十月の初めに、ぐうちゃんは小さな旅支度をして「いそもう」を卒業してしまった。

いままぐうちやんの前に立っていた。【ぐうちやんは僕に近づき、あの表情で笑った。そして、何も言つずて僕の手を握り

も言ひては僕の手を握りしめ、力の籠もつた強い握手をして、大股で僕の

④ 家を出でいつた。
「ほらばつかりだつたじ

やないか。」「いそうろう」がいなくなつてしまつた部屋の前で、僕はそう思つた。

An illustration showing two boys from the side, looking through a window frame. The boy on the left is wearing a light blue shirt, and the boy on the right is wearing a dark shirt. They appear to be looking out at something outside the frame.



相名詞「アインアーテネット」より

5 「僕」が「勝手に行けばいいじゃないか。」とぶつから、
ぼうに言つたのはなぜか。「僕」の心情に触れながら、
三十字以上四十字以内で書きなさい。

記述式トレーニング

4

1 線部④から、「僕」のどんな心情がわかるか。次の文の空欄に入る言葉を一つ選びなさい。

*取り残された「僕」の [] 。

ア 寂しさ イ 愛情 ウ 激励
オ 不安 エ 安堵 オ 工 喜び エ 軽蔑
ア 安心 イ 愛情 ウ 激励
オ 不安 エ 安堵 オ 工 喜び エ 軽蔑

2

3

4

(3) [出発の日] とあるが、

(1) 出発したことを言い換えた言葉を十六字で探し、初めの八字を書きなさい。

(2) 出発の日の【】内の動作からは、ぐうちゃんのどんな様子が読み取れるか。次の文の空欄に入る言葉を、1、2は後から一つ選び、3は考えて書きなさい。

*「僕」に対する 1 [] や 2 [] と、旅立つことへの
思いが 3 [] 様子。

A vertical ruler scale is shown, starting at 0 and ending at 20. The scale has major tick marks every 1 cm and minor tick marks every 0.5 cm. Horizontal dashed lines extend from each tick mark across the page.

(2) 工 「僕」の興味がしだいに薄れていく様子。
この表現から、「僕」のどんな気持ちがわかるか。
十五字以上二十字以内で書きなさい。

1 「僕」が聞きたかった①「ぐうちゃんの話」はどんな話か。「ぐうちゃんの□」の空欄に入る言葉を三字で書き抜きなさい。

2 ②「どんどん遠くなつていく。」とあるが、この表現が表す様子を一つ選びなさい。

(1) ア グーちゃんの声が小さくなつていく様子。
イ 「僕」の体力がどんどん弱つっていく様子。
ウ ぐうちゃんの話が頭に入つて来ない様子。

字数指定のあるものは、句読点や記号も一字と数えなさい。

組番名前

国語2年 光村図書版(2)

目標 作者の四季に対するものの見方や、感じ方に触れる。

教科書 P.36 ~ 39

20分

1 の漢字は仮名に、仮名は漢字に直しなさい。

- (1) 紫がかつた雲。
(2) 蛍が飛ぶ。
(3) 趣がある。

- (4) 鳥の寝どころ。
(5) 霜が真つ白だ。

- (6) 人前でオドル。
(7) ヨウジのおもちゃ。
(8) アイらしい指。
(9) 顔をカタムケル。
(10) スイシヨウを買う。

2 後の問い合わせに答えなさい。

- (1) 「やうやう」 (2) 「なほ」 (3) 「をかし」を現代仮名遣いに直しなさい。

次の古文の _____ の言葉の意味を、後から一つ選びなさい。

*うつくしきもの。瓜にかきたるちごの顔。

ア ありがたい イ 美しい ウ カわいらしい エ おもしろい

3 次の古文と現代語訳を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

(1) 春はあけぼの。やうやう白くな
りゆく山ぎは、すこしあかりて、
紫だしたる雲のほそくたなびきた
る。

夏は夜。月のころはさらなり、
闇もなほ、螢の多く飛びちがひた
る。また、ただ一つ二つなど、ほ
のかにうち光りて行くもをかし。
雨など降るものをかし。

(現代語訳)

春は明け方。だんだんと白んでいく山ぎ
わが、少し明るくなつて、紫がかつた雲が
細くなびいている(のは風情がある)。

夏は夜。月の頃は言つまでもないが、闇
もやはり、螢が多く飛びかっている(のが
よい)。また、ほんの一、二匹ほのかに
光って飛んでいくのも□。雨などが
降るものもい。

3

思・判・表

5点×10

/50

2

知・技

5点×4

/20

1 知・技

3点×10

/30

組	番
名前	

国語2年	光村図書版
/50	/50
知・技	思・判・表
得点	

(清少納言「枕草子」より)

◀ファイルにとじて、復習に活用しよう。▶

(1)

(2) 春は明け方の時間帯がよい。 イ 春は明け方だ。

(3) 「山ぎは」の意味の説明となるように、次の文の空欄に、それぞれ「山」

(4) 「山ぎは」の語を入れなさい。

(5) 「あかりて」 (6) 「たなびきたる」の主語にあたる言葉を、それぞれ現代語訳

(7) から四字と二字で書き抜きなさい。

(8) 「さらなり」の意味を、現代語訳から書き抜きなさい。

(9) 「多く飛びちがひたる」の情景と対比される情景を、A 蛍の数、B 飛ぶ

(10) 様子に分けて、それぞれ古文中から書き抜きなさい。

(11) 「をかし。」の意味を、次から一つ選びなさい。

(12) 変だ イ 切ない ウ 滑稽だ エ 趣がある

(13) 夏のむし暑さ。 エ 雨が降る夜。

(14) 夏の中の螢。 イ 月明かりの夜。

(15) 作者が夏の風物としてたたえていないものを、次から一つ選びなさい。

(16) 蛍の数を、次から一つ選びなさい。

(17) 夏の中の螢。

(18) 月明かりの夜。

字数指定のあるものは、句読点や記号も一字と数えなさい。

送り仮名のあるものは、送り仮名も書きなさい。

